

振興計画体系					令和5年度 事業費(千円)					前年度比	実施状況	成果	課題	今後の方向性	
					国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計	前年度比						
5	2	3	4	5	学校体育施設開放事業	市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として、学校体育施設を学校教育の支障のない範囲で開放し、市民が健康的な生活を営むことにつなげる。	地域住民のスポーツの普及・発展と生活化を図るため、学校の体育施設を一般の利用に開放する。			315	315	市内の小中学校21校が、学校施設開放運営協議会を設置し、施設の開放を行っている。	令和4年度においては、延べ62,132人の利用があり、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場として、施設が利用された。	現在の施設利用については無料である。しかし、受益者負担の必要性もあり有料化の検討も必要である。	現状維持
5	2	3	4	5	地域海洋センター連絡協議会参画事業	連絡協議会主催会議等に職員が参加し、指導能力の向上、実践することで生涯スポーツ振興や健康づくりに寄与する。	地域海洋センター連絡協議会主催の会議等に参加し、研修等を受講し、今後の活動に活用する。				0	南九州ブロック地域海洋センター連絡協議会総会、B&Gスポーツ県大会、南九州ブロック地域海洋センター・海洋クラブ責任者会議等に参加している。	他のセンターや海洋クラブ、指導者協議会等の情報交換、B&G財団本部職員による助成事業説明や指導者表彰等、指導者の資質向上にも繋がっている。	会議や研修については事務局の出席であるが、施設については、現在指定管理制度を導入しており、今後指定管理者で各資格取得についても検討が必要となっている。	現状維持
5	2	3	4	5	志布志ジョガー駅伝競走大会事業	駅伝を通じて、走る喜び走る楽しさを味わいつつ、参加者の連携と親睦を深める。また、スポーツ精神の高揚と青少年の育成と健康の増進を図ることを目的とする。	心身共に明るく気迫に満ちたたくましい青少年の育成と、チームで走る楽しさ、喜びを味わい、併せて参加者相互のふれあい、参加者の体力向上及び健康増進を図るため5区間の駅伝を実施する。			255	255	小学生の部と中学生以上の一般部の部を開催し、例年100チーム弱の参加がある。	小学生の部においては、スポーツ少年団の参加が多く、普段とは違う競技を通してチームの連携を深めることができる。一般の部の中学生・高校生については、競技力の向上が図られる。社会人については、運動のきっかけづくり又は健康増進が図られている。	今後は、新たな部門を設定し、幅広い年代からの参加者を増やしていく必要がある。	現状維持
5	2	3	4	5	志布志市スポーツ少年団本部運営支援事業	スポーツ少年団活動の充実、指導者・母集団の資質向上が図り、単位団や団員数の増加につなげる。	市スポーツ少年団本部に32団体(令和3年度末)が加盟しており、その団体の統括、少年団登録事務、活動助成を行っている。			928	928	市スポーツ少年団本部に32団体(令和4年度末)が加盟しており、本部常任委員会・指導者協議会の開催及び各種研修会等を開催されている。	本部常任委員会・指導者協議会の開催及び各種研修会等を開催し、少年団活動の充実、指導者・母集団の資質向上が図られている。	大会数が多く競技志向が強くなっており、県スポーツ少年団本部の示す週3回以内1日平均2時間以内の原則が遵守されていない団体もある。大会が多いため、学校・PTA活動や子ども会・地域活動等との活動バランスが課題となっている。	現状維持
5	2	3	4	5	志布志大相撲後援会運営事業	志布志大相撲後援会の総括運営にあたり円滑かつ効率的に実施することを目的とする。	国技相撲において志布志市出身の力士が、より精進活躍できるよう協力、支援する。			324	324	九州場所の応援ツアーや、力士の帰郷に合わせて、激励会を実施している。	千代丸・千代鳳閣の応援ツアーの実施や激励会の開催等支援ができています。	商工会への事務局移管を検討する。	現状維持
5	2	3	4	5	海洋クラブ運営支援事業	カヌー教室を通じて得られる海・船・海洋環境の知識や、集団活動による社会性の習得することにより、スポーツ活動や青少年健全育成の推進を図る。	カヌーなどの海洋性レクリエーション活動を通じて、海・船・海洋環境に係る理解を深めることを目的に、カヌー教室を開催しており、県大会にも参加している。			149	149	例年15名弱の子どもたちが参加し、カヌー教室を通じて、集団活動による社会性を習得している。	令和4年度においては22名が参加し、カヌー教室だけでなく、SUPやニュースポーツ等の体験もできた。	広報活動をおこない参加者の増加を図る必要がある。	現状維持
5	2	3	4	5	志布志みなとサッカーフェスティバル事業	志布志みなとサッカーフェスティバルを開催するために必要な一切の準備、大会の総括運営にあたり円滑かつ効率的に実施することを目的とする。	市内外のサッカー部の高校生が一同に会し、サッカーフェスティバルを開催することにより、市民のスポーツに対する意識の高揚と、参加チームの技術の向上発展を図るとともに、市内への合宿誘致を図る。			810	810	例年、8月1日からの12日間で100チーム近くが参加し、切磋琢磨している。参加校は、九州管内だけでなく、さんふらわあを利用して、関西方面からの参加も多い。	サッカーの町として志布志=サッカーを目指し、市民のスポーツに対する意識の高揚が図られ、参加高校においては技術の向上が図られる。併せて参加校による宿泊や弁当購入等、地域への経済効果も非常に大きい。	現状維持	

振興計画体系			総合戦略体系		事業名	事業目的	事業内容	令和5年度 事業費(千円)					実施状況	成果	課題	今後の方向性
								国県支出金	その他特定財源	一般財源(志基金含む)	合計	前年度比				
5	2	3	4	5	伊崎田相撲大会実施事業	地域の五穀豊穡、家内安全を守る地域の伝統行事を継承するとともに、地区民の親睦、融和と青少年の健全育成を図る。	小学校の部、中学校の部、一般の部による相撲大会及び赤ちゃんの土俵入りを実施する。			180	180		小学校の部、中学校の部、一般の部を開催している。また、赤ちゃんの土俵入りや化粧まわしコンクールを実施している。	地域の伝統行事を通して、地区民の親睦、融和と青少年の健全育成が図られている。	現在の支出は、補助金として行っているが、報償費としての支出やコミュニティ協議会助成金との統合を検討する。	現状維持